

抄録

『越路日誌』について

越路日誌は当時の中橋達夫越路小学校長が刊行されました。明治24年から昭和30年までの期間、保存されていた学校日誌をもとに作成されました。明治・大正・昭和の世相が読み取られるように配慮され、当時の学校と地域との関係を理解することができる大変貴重な資料です。

今回、「越路校下の昭和史」をデータ化する中で、戦争と学校との関わりが多く寄稿されていることを知ることができました。越路日誌は、「越路校歌下の昭和史」で投稿された戦争の内容が、裏付けされた資料となっております。

こうしたことから、この資料と越路校下の昭和史を同時にホームページに掲載することは、大変意義のあることだと考えています。

著者の中橋達夫先生に趣旨をご理解いただき、昭和16年から昭和20年の5年間分を掲載させていただきました。深く感謝致し、お礼を申し上げます。

中能登町教育委員会

中橋達夫 著

『抄録 越路日誌』（抄出）

※黄色の枠は、戦争色の強い行事を表します。

昭和一六年

- 一・一一 午后二時ヨリ蒸気アイロン講習会（婦人会主催）
本日ヨリ寒稽古行ハル
- 一三 寒稽古納会
- 二・八 尋五以上武道大会ヲ举行スル（午後一時ヨリ）青年学校生徒モ参加スル
- 二〇 午前八時四十分ヨリ全校生徒雪中遠足ヲ行フ
尋四以下原山・蟻ヶ原方面五以上蟻ヶ原方面へ
- 三・六 青少年義勇軍送別会午後一時ヨリ
七 林・車両君良川駅頭歓送
午後映写会アリ、マー坊の無敵海軍・哀悼二十二課
一 午前十時ヨリ桜井清氏ノ滿洲開拓義勇軍ノ才話
- 四・一〇 池田先生出征ニツキ運動場ニ歡送式
- 一五 全校遠足一・二年七尾農学校方面、三・四年小田中親王塚方面、五年以上酒井永光寺方面
- 二八 家庭訪問始マル
- 五・一二 一限後体力検定施行
- 三一 第五・六限三年以上持久走
- 一五 訓練実践要目ヲ職員会テ決定
- 二二 1、口元ヲ締メテ 2、目ヲ見張レ 3、耳ヲ澄マセ 4、指先ヲ伸バセ：学級状況ニヨリ実践
- 二四 第二限ヨリ勅語奉読式・閲童及分列式举行
- 二七 勤労奉国結成式举行
- 六・九 朝礼ニ続キ海軍記念式、続イテ小運動会举行
神饌田 田植式举行
- 一〇 六年児童参宮旅行ニ出発十三日帰校
- 一三 高等科児童一泊二日ノ旅行
- 一七 初等科一〇五年修学旅行ニ出発ス
- 二一 「南方へノ進軍喇叭ハイツ鳴ルカ」石井大尉ノ講演拝聴
- 二三 一時ヨリ校内相撲大会開催（四年以上男児）
- 三〇 午後三時ヨリ二宮神社テ御祓執行ノタメ全校児童参加
- 七・一 興亜奉公日・勤労作業
- 六 郡総合訓練大会七尾市ニ举行、初五以上参加
- 一一 二宮区児童五年以上八黒樫象捕殺ノタメ四限ニテ帰宅セシメラレタシ
- 二四 産業報國會結成式午後二時ヨリ於講堂

昭和一七年		
二五	二五	石動山方面へからむし取
二六	二六	第一限後男児ハ相撲、女児ハ競技大会ヲ行フ
二七	二七	諏訪神社花鳥角力大会 初等科団体優勝
三〇	三〇	第五学年以上希望者、一宮へ臨海学校 八月三日迄
八・一七	八・一七	五年以上二宮神社ノ勤労作業ヲナス(地盛)四年以下草刈
二二	二二	満蒙義勇軍高柳止夫君ノ才話ヲ聞ク
二六	二六	全学年ソレゾレ分カレテアカソ・チヨマ採取ニ出カケル
九・九	九・九	全校一斉勤労作業アリ
一五	一五	初五以上男全部木刀持参、高女ハ薙刀ヲ持ツコト
一八	一八	男ハ軽装女児ハモソペ・ハチマキトシ下駄ヲ禁ズ
二二	二二	満洲事変十周年記念式及初五以上参加ノ記念演習、青年学校ト合同テ
二七	二七	第一部児童訓練大会五年以上荒山峠ヲ越工胡桃原ヲ経テ滝尾校ニテ閉会午後五時
一〇・一	一〇・一	○時三〇分ヨリ角力場落成祝賀大会
四	四	興亜奉公式・第三限後 初五以上家庭ノ手伝及勤労作業ヲ行フ遺家族勤労奉仕作業第二日目右ノタメ授業午前、放課全学童帰宅(以後五年以上ハ七日迄)
一三	一三	二限後防衛団結成式並ニ防空訓練豫行演習
一六	一六	第二限ヨリ話方大会
一八	一八	午前十時訓話・十時十五分ヨリ全校黙禱
二〇	二〇	第二限防空訓練
二七	二七	学童角力大会高階
一一・七	一一・七	午后一時ヨリ落穂拾ヒ
一七	一七	第六限後初四以上児童講堂ニ於ケル産業道路竣工感謝式ニ参列
一一・三	一一・三	午後三時三〇分ヨリサイレン竣成式举行
六	六	運針競技会初等科四年以上女兒組
八	八	午後三時ヨリ針供養会 //
一一	一一	宣戦大詔・工場及学校ノサイレン吹鳴中止
一二	一二	尊徳先生歡送祭式举行
一九	一九	午後二時ヨリ英米撃滅大会(村)開カル
一七	一七	午後二時一五分ヨリ珠算大会举行
一七	一七	午後二時ヨリ全児童戦捷祈願神社参拝、賽銭一銭持参スル
一・一	一・一	十時ヨリ新年祝賀式午後一時ヨリ町制奉告式
一七	一七	山地大雪ニツキ山間地児童ハ帰宅サセズ
二三	二三	午後少年団遺家族ノ除雪ヲ行フ
二・五	二・五	雪中遠足 四年以下原山方面・五年以上蟻ヶ原方面
一一	一一	午前十一時ヨリ戦捷祈願神社参拝

一一	五年以上原山スキー場へスキー競技大会二
一五	〃 第八回学童スキー大会行ハル
一九	初五以上十二時半ヨリ縄綱会ヲ行フ
二三	第三限ヨリ武道大会五年以上参加
三一	午前十時三十五分ヨリ義勇軍ノ壮行式举行
一〇	午前八時半ヨリ興亜少年大会開催午後五時半閉会 村民多 参観
一一	朝会ニ於テ第二次ラングーソ陥落祝賀式举行
一二	午後三時二十分平国祭御輿御招待
四・二	始業式ニ引続キ宮本百合子サン靖国神社ニ参拝シテノ感想発表
一一	午前八時半全校児童遠足ヲナス
一一	初一滝尾方面 初二・三・四久江・小田中方面 初五以上永光寺
一八	午後一時三十分警戒警報発令
一九	午後十二時三十分空襲警報発令二時五十分解除
二〇	家庭訪問実施
二一	空襲警戒ノ警報発令頻発(コレヨリアト)
二九	天長節拝賀式後越路町青少年団々旗樹立式並ニ入退団式
五・六	全校一斉勤労作業アリ三年以下ワラビ取四年以上薪作り 本日ヨリ勅語拝戴記念週間
二二	第一日 勅語奉読式 児童分列式
二二	第二日 学術研究ノ日(発明工夫)
二二	第三日 生活反省ノ日(日光消毒・増産協力)
二二	第四日 読史明論ノ日(楠公講話)
六・五	創立記念式・体錬大会
六	第四限目初三以上中井勇次氏ノ南通方面及支那事情等二関 テノ講話ヲ聴ク
八	第一部児童訓練大会(一の宮)
一七	午後馬事訓練アリタリ
一九	高等科旅行一泊
二二	本日鍛練遠足ヲ行フ初三・四・六 城山、初一・二 七尾
二四	初等科第五学年金沢旅行举行ス
二五	鍛練時限二興亜少年少女隊結成式举行
二五	児童興亜少年隊幹部講習会開式举行二七日迄
二九	校内相撲大会ヲ行フ
三〇	午後三時ヨリ全校大祓式ノタメ神社参拝ヲナス
七・五	鹿島郡青少年団角力大会 鳥屋校
七	支那事変五周年記念式举行、英靈追弔
八	大詔奉戴日
二一	七尾市袖江校ニ於ケル相撲大会ニ出場

二二 四年以下、五年以上ノ女兒登校ラジ才体操・グライダー作製
二四 五以上男子登校、グライダー飛行機製作
二五 全校勤労作業二宮方面からむし取り

二七 午前九時ヨリ芹川才花島山ニテ青少年角力大会挙行
二九 臨海学校 三一日迄

八・二 午前九時ヨリ全校児童草刈作業、午後三時迄
五 本日ヨリ十一日ニカケテ各分団合宿訓練二入ル

二四 二限後滑空機・模型飛行機競技会開催

九・三 初五以上体力検定ヲ受ケルタメ鳥屋校へ出カケル

一六 午後二時ヨリ新饌田ノ拔穂式挙行 初五以上参列

二三 鹿西学童相撲大会ニ於テ高等科児童優勝セリ

二九 本日勤労作業 高男学校林間伐、校下距離測定

一〇・三 五・六男 戦場走路三・四年五女 薪とり 六・高女ガラス紙
貼り 一・二年 自然観察

軍人援護強化週間第一日奉読式・神社参拝

第二日遺家族ノ勤労奉仕第三・四日モ同ジ

初三以上第二限ヨリ特殊訓練予行会

興亜室整備及ビガラス窓ニテープ貼り作業

二宮尊徳先生陶像据付終了

// 除幕式、第三限後特殊訓練予行演習・興亜室参拝

一一・四 興亜教育研究発表会 辻口視学以下県官十名其他一般参観約
百二十名

一三 三年以下落穂拾ヒ、四・五・六年高女アカソとり 高等科男
児

大東亜戦争記念植林植付

午後二時ヨリ役場デ梵鐘供養会、代表参列

兵制七十周年記念式挙行

初六 参宮旅行出発 十二月二日帰校

一一・八 大東亜戦争一周年記念行事 1、慰霊祭 2、大詔奉読式 3、

記念学芸会 4、戦捷祈願祭

運針競技会

午前薪採リ、午後馬事訓練

午後一時ヨリ商業報国会アリ

昭和一八年

一・九 給食開始

午後一時ヨリ五年以上勤労作業

青校・国民学校高等科全員石動山、蟻ヶ原ヨリ木炭販出勤労作

業ヲナス

午後三時三十分頃、武部 曾我政一氏宅出火一軒焼失シテ鎮火

日蝕観測及ビソノ整理

二・五

八	原山スキー場ニ於テ校内スキー大会举行
一四	原山ニ於テスキー大会举行
二四	三限後五年生以上縄綱作業ヲナス
二六	第二限後北口末吉氏ヨリ海軍生活ノ才話ヲ聞ク
三・六	地久節・義勇軍壮行式举行八日二出発
一〇	撃ちてしやまむ大学芸会開催(一〇時〜午後六時)
一三	午前中高等生木炭搬出ノタメ石動山へ、初六男石炭搬入雪除等 勤労作業ヲナス
二七	九時半ヨリ聯盟離脱詔書奉読式
四・八	初一年午前十時ヨリ入学報告祭ノタメ神社参拝
九	午後三時ヨリ新運動場ノ鍬入式举行
一四	第六限四年以上講堂ニテ空気実験ノ見学
二一	家庭訪問始マル
二五	職員行軍並ニ家庭訪問芹川宮八時半集合、原山・蟻ヶ原・石動 山
三〇	明一日午前八時青年団勤労働員下令セラレタリ
五・一	健民運動週間 第一日 令旨奉読式・神社参拝
	第二日 日光利用ノ日(日光消毒・増産協力)
	第三日 鍛練行軍 初一・二 七尾農学校方面
	初三・四 荒山、国見方面
	初五以上七尾城趾方面
	第四日 体力検定
	第五日 正シキ食べ方ノ日(四年以上長距離競走)
	第六日 体温測定
	第七日 勤労作業(薪取り)
	第八日 少年団常会
	第九日 家業手伝
一四	青柏祭ノタメ授業一限ニテ短縮
二六	朝会ニ引続キ貯蓄ニ関スル綴方発表初三以上各級一名宛 体 育室ニ發明工夫品陳列
六・五	故山本元師国葬儀遥拝式
六	午前九時船塚・長門訓導希望児童ノ自転車隊組織、高浜付近ニ 作業ヲナス郷土義勇軍慰問
七	創立記念式・體鍊大会
九	第三限ヨリ男児勤労作業 小石拾ヒ、畝作り
一一	第一限後初五以上女児野生食糧品取りニ石動山附近へ
一二	団体訓練時ニ新農場ノ石拾ヒ作業ヲ行フ、午後男児ハ農場ニテ 作業ヲナス
二二	分団毎ニ午後桑條剥皮作業ヲナス
二二	鍛練時間ニ全校児童農場ノ石拾ヒ 二三日モ

二七 午後二時半ヨリ講堂ニテ田休慰安演芸会アリ
七・一一 石崎校ニ於テ相撲大会アリ・初等・高等共出場セリ
一五 第二限ヨリ滑空競技会、午後ヨリ水泳場作製
二五 野生芋麻取り五年以上男子
二六 角力会

二七 七鹿青少年角力会芹川才花畠デ初等科高等科共ニ優勝セリ
二八 野生芋麻取り五以上女児
三〇 臨海生活開始一ノ宮 八月三日マデコノ間
一・二年、三・四年ハソレゾレ一日一ノ宮遠足

夏休ミ中連日縄綱・水泳・相撲等行事アリ
校内水泳競技大会、原山ノ大池

九・九 全学年勤労作業ヲナス(午後六時頃)
コノ日迄連日勤労奉仕(堆肥作り・県道除草・報国農場作業等々)

二〇 模型飛行機滑空競技会
本日ヨリ午後八農繁休業午後八家業ノ手伝
一〇・二 本日ヨリ八日迄軍人援護週間

九 全校行軍セシモ雨ノタメ途中ヨリ帰ル
一二 甘薯掘り約二百貫午後
二〇 校内角力大会午後二時ヨリ

二二 五年以上石動山方面ヘ団栗拾ヒヲナス
二五 能登部相撲初等優勝、高等二等
二六 体力検定ノ為鳥屋校ヘ出場ス初五以上朝八時出発

一一・三 明治節拝賀式後永年勸続隣保班長表彰式
四 午后分団毎ニ落穂拾ヒ
一一・八 早朝男女青年団員約百名大東亜青少年総蹶起運動暁天動員実施

一三 第四限ヨリ初五以上縄綱会ヲ開ク
一四 朝会ニ於テ義士祭ニ関スル講話
一八 第五限供米完納奉告祭ニ全校一斉ニ参拝

昭和一九年

一・四 始業式冬休み十二月二十九日ヨリ
二〇 全校一斉縄綱会(四限後)
二八 全校児童建縄増産競技会コノ後縄ナヒ行ワレル
二・九 第二限ヨリ武道会開ク
二二 校内スキー大会、三年以上原山ニテ、三年以下縄綱会
三・五 午後ヨリ各先生方字別蒔建生産状況ニツイテ督励員トツテ各区
へ

一九 剣道大会(武徳会主催)
二二 午前九時ヨリ郡義勇軍壮行会午後一時ヨリ産業戦士壮行会

二二	義勇軍歡送徳前踊場ニ全児童集合五年以上良川駅マデ
四・一七	二宮家庭訪問本日ヨリ家庭訪問始マル
二四	軍人援護強調週間始マル
二九	全学童才菓子ノ配給ヲ受ク
五・六	故古賀元師殉職哀悼式挙行
七	午前八時ヨリ少年団大豆増産作業
九	楮・野草採取全児童本日ノ採取概算左ノ如シ 楮十五貫、よもぎ四十貫、わらび十五貫、かたは十二貫、ふき 六貫、あさづき三貫、其他
一〇	慰問文ノ封入
一三	第三限ヨリ全校増産作業ヲ行フ
一五	本日ヨリ農繁期ノタメ時間割変更
六・五	開校七十一年目創立記念式挙行、式後分列式、午後二時ヨリ映画会
一一	本日ヨリ授業正規ニ復ス、鍛練時間実施
一二	今日日 麦ノ刈入 高等科
一三	午前六時ヨリ部生徒児童訓練大会ニ参加ス
七・八	初一・二 越路―滝尾―鳥屋―越路 初三・四 越路―鳥屋―能登部―御祖―越路 五以上 越路―一宮―越路
一一	学校 軍馬 出征
一八	第一限ヨリ全校児童ノ体錬査閲行ハル
一九	十二時大本営発表ニヨリサイパン島将兵全員戦死朝会ニ於テ 黙禱ヲ捧ゲ
二一	本日ヨリ夏季鍛練期間ニ入ル(休暇中毎日登校) 初五以上 水害復旧作業(校地内)二四日迄
二七	芹川花鳥相撲会本年ヨリ他校ノ参加ナシ
八・一二	拂曉行軍午前五時、六年以上 越中中田方面 午前五時半、 四・五年石動山・蟻ヶ原 午前六時三年以下荒山方面
九・八	芋麻採集 前日金沢師団経理部長ヨリ依頼ノ電報アリ 勝ち抜く戦ひの絵提出
一三	全校ドングリ採取、四時帰校
一〇・一四	高二・初一・二ドングリ採取五時半帰校
一八	三・四・五・六 高二女ドングリ採取
一九	午后全学年落穂拾ヒ
二二	朝礼ニ引キ続キ疎開児童紹介式、二限尊徳祭、昼食時疎開児童 ト会食
二八	午後薪拾ヒ
一一・一四	団栗二十七俵出荷
一八	午後二時鳥屋校ニテ学徒動員送行式

- 二〇 午前中学生徒動員壮行式挙行セラレ引続キ興亜室ニ於テ父兄会
開催
- 二四 高二(徳田航空会社)高一(二宮航空会社)
- 二二・八 初五・六女土除作業、初六男甘諸出シ
- 二三 大東亜戦争三周年記念式挙行・雪中視閲式裸足ニテ行フ
午後一時ヨリ保護者会母ノ学校並ニ大日本婦人米英撃擢、憤
激大会開催
- 二六 授業午前限リ午後全職員徳田及七尾航空分工社ニ二分シ戦
士ノ慰問ヲ行フ
- 二八 終業式

昭和二〇年

- 一・一〇 朝会ニ引続キ疎開児童紹介式
- 一八 校内少年大会午前十時ヨリ開催参観多数
- 二二 良川工場慰問、初三・四・五出演児童山田訓導引率
- 二・二一 建縄競技会 九日二モ
- 一五 雪滑大会
- 一七 本日ヨリ高二女越路工場へ移駐(七尾航空ヨリ)
- 三・一〇 第二限ヨリ義勇軍ノ壮行式挙行
- 二六 初六男六名綱引用綱ヲ良川駅ヨリ運搬ス
- 二八 午前中全校児童馬鈴薯畑ヲ耕ス(三年以上)幼学年生ハ小石
拾ヲナス 二九日モ同ジ
- 四・一七 滝井国民学校村上石松氏集団疎開ニ就イテゴ訪問
- 二〇 本日ヨリ家庭訪問武部ヨリ
- 二一 大阪市ヨリ疎開児童午後六時良川駅着ヲ出迎ノタメ、武部・
二宮・芹川ノ高一女・六男女及受持教員該区居住先生出張
集団疎開越路寮主任石川訓導挨拶ノタメ来訪
- 二二 BSG一機初見参ス、西南方ヨリ頭上通過七尾灣方面ニ於テコ
ースヲ東ニトル
- 二四 大阪集団疎開側町長山本宗一氏校長高橋吉雄氏他ニ学務委
員一名挨拶のため来校、同集団疎開職員
- 二九 児童一同来校
- 五・六 集団疎開仏乗寺寮・日高先生(女)来校給食手桶式個借リ行カル
集団疎開児童教師引率ノモトニ式ニ参列、才祝トシテ紅白豆一
袋宛配給(滝川国民学校)
- 一一 少年団分団毎ニ「大豆」「ヒマ」播種地の整地作業ヲナス
- 一九 十二時十五分警戒警報・加賀方面ヨリ偵察機一機侵入全児童裏
山へ待避
- 二一 全校児童野草採集、午前八時三〇分ヨリ午後五時
- 二五 農繁期短縮授業本日ヨリ六月二六日迄
- 本日山ノ手方面ヨリ家庭訪問

六・二	初二ノ一細川幸子武部新池ニテ溺死本日葬儀
五	創立七十二周年記念式、二限ニテ授業終ル
六	軍ヨリ借用ノ学校馬病死
二一	全校一斉甘藷植付 二三日迄
七・五	午後二時ヨリ婦人会母ノ学校アリ婦人会解散式
一三	海軍軍需部小麦粉ノ積込ヲナス
一五	東海第三一二〇三部隊へ小銃一五・帯剣一五・外ニ外套四枚 ヲ貸ス
二〇	第三限少年団解散式・引統学徒義勇隊結成式
二三	本日ヨリ薬草採集・堆肥積込・農場肥培作業
八・八	高二防空壕構築
一四	講堂及児童玄関ニ大豆積込ミス一六日ニモ
一八	午前中工場進駐学徒、山本・諏訪訓導引率ノモト帰校ス
九・一	朝会ニ引統キ大東亜戦争終結詔書奉読式挙行
九	海軍軍需部ヨリ胡麻引取ニ来校
一六	午後三時ヨリ運動場ニテ在郷軍人解散式挙行
	二宮祭礼日ヨリ農繁短縮、二四日迄
二六	南瓜展覧会、疎開石川先生外南瓜受取りニ
一〇・一	第二期農繁短縮十三日迄
一三	朝会ニ引統キ戊申詔書奉読式
一五	甘藷堀り五四〇貫、葉柄一貫一円希望者ニ
一六	朝会ニ引統キ疎開学童歡送式、十一時ヨリ
一七	疎開学童本校職員ト会食ス 疎開学童ヨリ図書寄贈アリ
二四	甘藷供出四二〇貫
二四	午前十時初四以上疎開学童ヲ馱マデ見送りヲナス
二四	全校甘藷堀り、二四日初三・四
一一・一	初五以上二七日迄麦ノ播種
二	一・二年甘藷給食
九	三・四年 "
二四	午前八時三〇分団栗採集ニ出発
一一・一二	四限収穫祭後全校給食実施収穫物全児童へ分配ス
三一	進駐軍二名通訳一名学校検閲ノタメ来校
	午前八時半ヨリ御真影奉還式挙行

※本文の全文は『抄録 越路日誌 明治以降の世相と教育の動向を探る』というタイトルで昭和六一年、能登印刷株式会社より発行されています。